

令和6年度 春日井市

市民環境アカデミー

募集要項

- 対象 市内在住、在勤、在学の方
全講座を受講できる方
- 定員 40人（定員を超えた場合は抽選）
- 受講料 無料
- 申込期限 7月26日（金）＜必着＞
- 申込方法 右のQRコードから。



お申し込みはこちらから

または、ハガキかファックスに

- ①市民環境アカデミー参加
- ②氏名（ふりがな）
- ③住所
- ④電話番号
- ⑤年齢

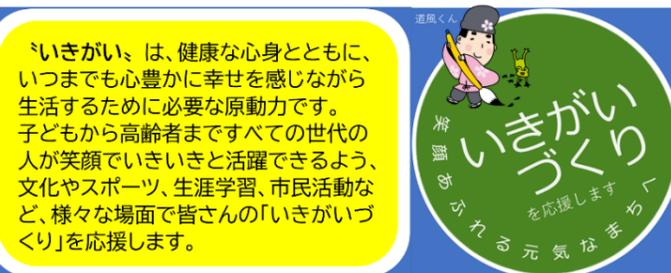
をご記入のうえ、下記申込先まで送付してください。

問合せ・申込先

春日井市環境部環境政策課

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地

TEL：0568-85-6216 FAX:0568-84-8731



台風による警報や熱中症警戒アラートの発令等により、講座を延期もしくは中止する場合があります。



市民の皆様が家庭や地域での環境活動を率先して実践していくため、地球温暖化、ごみ減量、生物多様性など、各分野の第一線で活躍されている講師陣から幅広く環境について学ぶことができます。

各講座の内容・講師・日程などは中面、募集要項については裏面をご覧ください。

2050年二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けた
地球温暖化対策の取組みを着実に進めていくため

令和3年6月22日に「ゼロカーボンシティかすがい」を
宣言しました。

令和6年度 春日井市 市民環境アカデミー

	日時	会場	タイトル	概要	講師	プロフィール		
1	9月20日 (金)	13:30～ 13:45		開講式	オリエンテーション	市職員		
		13:45～ 15:15	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	人間活動と生物多様性の相互関係について 〈生物多様性〉	私達の快適な生活は様々なインフラによって支えられています。しかしながらその快適な生活のため、生態系に様々な影響が及ぼされ、生物多様性に大きな影響を与えています。外来種の侵入や在来種の減少は人間活動による生態系への影響の一部です。本講座では、生態系に対する人間活動の影響を学ぶことで、地球環境に優しい人間活動への理解を深めます。	名古屋工業大学大学院工学研究科教授 増田 理子	【専門分野】 保全生態学、繁殖生態学 【研究テーマ】 絶滅危惧生物の保全、外来種の侵入解析、生態系の回復 【委員歴】 愛知県環境影響評価審査会委員、三重県環境影響評価委員会委員ほか 【略歴】 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了後、日本学術振興会特別研究員、愛媛大学工学部講師などを経て現職	
2	10月24日 (木)	10:00～ 11:30	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	再生可能エネルギー事業と地域活性化 〈再生可能エネルギー〉	日本政府は「2050年カーボンニュートラル宣言」の実現に向けて、再生可能エネルギーの普及を推し進めています。しかし、多くの地域では人口減少や経済停滞などの問題が喫緊の課題となっており、再生可能エネルギーの導入はなかなか優先され難い状況にあります。本講座では、地域活性化に資する再生可能エネルギー事業の在り方について学びます。	名城大学都市情報学部都市情報学科教授 大野 栄治	【専門分野】 土木計画学、公共事業評価 【研究テーマ】 住民参加型再エネ事業の環境経済評価 【委員歴】 国土交通省国土政策局小笠原諸島振興開発審議会会長、国土交通省中部地方整備局木曾川水系流域委員会委員ほか 【著書】 『環境経済評価の実務』（勁草書房・編著）、『地球温暖化はどこまで解明されたか』（丸善出版・共著）ほか	
3	11月15日 (金)	14:00～ 16:00	グリーンピア春日井 (春日井市細野町3249-1)	築水池・植物園フィールドワーク 〈フィールドワーク〉	明治の終わり頃からの治山事業により山紫水明の景となった築水池や、四季折々の植物の景観が楽しめる植物園をフィールドにして、自然環境保全活動の意義について学びます。	ネイチャークラブ東海代表 篠田 陽作	【役職等】 豊田市環境審議会委員、愛知県地域環境保全委員、春日井市自然環境保全活動推進員ステップアップ講座講師 【資格等】 自然観察指導員、環境カウンセラー、パークボランティア、自然公園指導員	
4	12月17日 (火)	14:00～ 15:30	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	地球温暖化と私たちの未来～古気候学の視点から～ 〈地球温暖化〉	近年、日本でも洪水や干ばつが頻発していますが、その背景には人為的な温暖化と十年単位の自然の変動が重なっており、近未来の水環境を正確に予測するには、自然の気候変動の実態を詳しく理解する必要があります。講演では、樹木年輪などによる古気候復元データを史実と照らし合わせて、過去にどのような理由で気候が変動し、社会はそれにどう対応したのか、そして近未来の私たちの暮らしに気候変動がどう影響するのかについて考えます。	名古屋大学大学院環境学研究科教授 中塚 武	【専門分野】 古気候学、年輪年代学、考古学 【研究テーマ】 気候変動と人間社会の歴史的関係性 【委員】 日本第四紀学会評議員、日本学術会議環境学・地球惑星科学合同委員会PAGES小委員会委員 【著書】 『気候適応の日本史－人新世をのりこえる視点』（吉川弘文館）ほか	
5	1月15日 (水)	14:00～ 15:30	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	バローグループの100年後の子どもたちに繋ぐ持続可能な社会づくりについて 〈食品ロス削減、こどもの居場所づくり、自然との共生〉	今回の講義では100年後の子どもたちに繋ぐ持続可能な社会づくりに向けた以下の取り組みについて紹介します。 ・バローグループ全体の食品ロス削減に向けた取り組みについて ・現在、春日井市内バロー3店舗で展開しているフードドライブ活動について、食品ロスの削減に留まらないその取り組みのねらいについて ・可児市の人材開発センター周辺における希少種等の保全活動について	株式会社バローホールディングス管理本部サステナビリティ推進室室長 秋元 武	バローグループは、「サステナビリティビジョン＝持続可能な社会の実現に向け、事業活動を通じた全員活動によって地域社会の発展と社会文化の向上に貢献します」を掲げ、100年後の子どもたちに繋ぐ持続可能な社会づくりに取り組んでいます。サステナビリティ推進室はグループ会社約60社の推進活動の旗振り役を担っています。	
6	2月4日 (火)	14:00～ 15:30	文化フォーラム春日井 (春日井市鳥居松町5-44)	心理学からみる環境問題 〈環境配慮行動〉	持続可能な社会を目指すうえで、環境配慮的な社会システムの構築と、その社会を構成する人々の具体的な行動変容が欠かせません。しかし、私たち人間はそもそも動物たちのことや自然環境そのものをどのように見ているのでしょうか。そして人間の心や行動の傾向は、限りある資源とどのような関係にあるのでしょうか。この講義では、資源管理をはじめとするさまざまな環境問題の解決にあたり、心理学の視点を活用することの重要性を学びます。	中部大学人文学部心理学科教授 坂本 剛	【専門分野】 社会心理学、環境政策、環境配慮型社会 【研究テーマ】 自然資源管理、道徳、協力行動、自然観 【委員歴】 日本グループ・ダイナミックス学会編集委員会、宗教／スピリチュアリティ心理学研究編集委員会 【著書】 『ビッグ・ゴッド：変容する宗教と協力・対立の心理学』（誠信書房・共同翻訳）ほか	
		15:30～ 16:00		閉講式	修了証交付	市職員	-	

【ご案内】	日時	会場	タイトル	講師	かすがいいいきアカデミーとは
かすがいいいきアカデミー合同講座 市民環境アカデミー受講者は申込なしで参加できます。	12月19日(木)	春日井市民会館 (春日井市鳥居松町5-44)	人生100年時代をどう生きるか～いきがいをもち、より豊かな人生を歩むには～	名古屋大学大学院准教授 河野 明日香	世代を問わず、誰もがいきがいをもち、充実した生活を送ることができるよう、4つのコース（生活科学・歴史・文学・芸術文化）で年間各13回の講座を開催して、皆様に学習の場を提供しています。令和6年度は既に申込が終了していますが、約500人の方が受講しています。（毎年3月末～4月に募集しています。）

※ 台風による警報や熱中症警戒アラートの発令等により、講座を延期もしくは中止する場合があります。